

日本天文学会昭和 63 年度春季年会記事

昭和 63 年度春季年会は、5 月 17 日(火)～19 日(木)の 3 日間、東大阪の近畿大学 11 月ホールで開催された。

講演数は口頭によるもの 262, ポスターによるもの 20 で, post dead-line papers は 2 件採用されポスター発表を行った。年会参加者は 444 名に及んだが、広大な 11 月ホールを使わせていただいたお蔭で、さしたる混乱もなく全ての行事に対応できた。さらに特別な計らいで、この会館を無償でお借りできたことは、経理面で苦悩している天文学会への最高のご援助であったと感謝している次第である。

口頭による研究発表の座長は次の方々をお願いした。

A 会場 (大ホール)

- 5 月 17 日 午前 杉本大一郎 (A 1～9)
野本憲一 (A 10～18)
午後 池内了 (A 19～33)
福井康雄 (A 34～49)
18 日 午前 海部宣男 (A 50～59)
田原博人 (A 60～69)
午後 藤本光昭 (A 70～80)
古在由秀 (A 81～90)
19 日 午前 中野武宣 (A 91～100)
石黒正人 (A101～110)
午後 森本雅樹 (A111～124)
小暮智一 (A125～138)

B 会場 (2 階小ホール)

- 5 月 17 日 午前 楨野文命 (B 1～9)
松岡勝 (B 10～18)
午後 竹内峯 (B 19～33)
坂下志郎 (B 34～49)
18 日 午前 加藤正二 (B 50～59)
佐藤勝彦 (B 60～68)
午後 小平桂一 (B 69～79)
祖父江義明 (B 80～87)
19 日 午前 土佐誠 (B 88～97)
岡村定矩 (B 98～107)
午後 甲斐敬造 (B108～119)
平山淳 (B120～130)

第 1 日目 (17 日) の年会講演に引き続いて開催された公開講演会は、「近代天文学の始まりと大阪」というメインテーマの中で、講師紹介を橋本敬造氏にお願いし、

会は長谷川一郎氏の司会で進められた。

その内容は次の通りであった。

1. 「近代天文学の始まりと大阪」

藪内清氏 (京都大学名誉教授)

2. 「地動説の伝来と新宇宙観の成立」

(大阪の町人学者山片蟠桃の宇宙観)

有坂隆道氏 (関西大学教授)

170 名の聴衆も、広い会場では点在している程度にしが見えなかったが、予定時間一杯の熱のある講演会であった。

年会期間を通して開催されていた展示会は、「間重富、高橋至時ら「先事館」に関わる歴史資料の展示」と、近畿大学中央図書館から提出された“コペルニクス、ガリレイ、ニュートン等の初版本”など稀覯本の公開であった。誠に得難い貴重な資料に参加者は深い感銘を受けたようであった。

賛助会員のために開催された展示コーナーは、三々五々に現われる年会参加者の足も途切れることがなかったようだ。この展示コーナーに参加されたのは次の 8 社であった。

ニュートリノ、日本洋書販売、アムテックス、沖電気工業、協栄産業、東芝/荒川電機、浜松ホトニクス、ピアス。

年会会期中に、総会 (第 2 日目)、評議員会 (第 1 日目)、理事会 (第 3 日目) が開かれ、特に、第 2 日目の昼には「国立天文台創設について」のパネルディスカッションが行われた。パネラーは、平山淳 (東京天文台長事務取扱)、古在由秀 (前東京天文台長)、池内了 (東京天文台/改組準備調査室長) の 3 氏であった。

その他専門研究グループの 8 つの集会在開かれ、広い会場を有効に使った充実した年会であった。

また 18 日午後 6 時から催された懇親会では約 250 名の参加があり、会場となった地下のグリルは身動きのできない程の盛況であった。

総会議事

昭和 63 年度通常総会は 5 月 18 日 16 時 20 分～17 時 20 分に東大阪市の近畿大学 11 月ホールで開催された。約 160 名が出席した。

議長: 理事長 高窪啓弥

総会次第:

1. 天体発見賞贈呈の件

2. 昭和 62 年度会務報告
3. 昭和 62 年度会計報告・会計監査報告
4. 昭和 63 年度予算
5. 第 7 期評議員の決定・委嘱
6. 日本天文学会研究奨励賞内規の決定

◇天体発見賞贈呈の件

評議員会の議決に基づき、以下の 6 件に天体発見賞・天体発見功労賞を贈呈する件が提案され、満場一致で承認された。

1. 桜井幸夫氏「こぎつね座 1987 年新星」
天体発見功労賞
2. 市村義美氏「市村彗星」
天体発見賞
3. 古山茂氏「古山彗星」
天体発見賞
4. 池谷薫氏「超新星 1988 A」
天体発見賞
堀口進午氏「同上」
天体発見功労賞
5. 谷口義明氏「超新星 1988 E」
天体発見賞
6. 和久田実氏「へびつかい座 1988 年新星」
天体発見賞

引き続き表彰式が行われ、理事長より表彰状・メダルが手渡された。なお谷口氏は受賞を辞退された。古山氏は式に出席されず、別途伝達することとなった。

◇昭和 62 年度会務報告

庶務理事より、昭和 62 年度会務報告があり原案どうり了承された(付録 1)。

◇昭和 62 年度会計報告・会計監査報告

会計理事より、昭和 62 年度会計報告があり、これに関して会計監査より監査の結果正常であった旨の報告がなされ、原案どうり承認された(付録 2)。

◇昭和 63 年度予算

会計理事より、昭和 63 年度予算についての説明があり原案どうり了承された(付録 3)。

◇第 7 期評議員の決定

評議員選挙管理委員より、第 7 期評議員選挙結果に基づく新委員候補者案が示され原案どうり承認された。

◇日本天文学会研究奨励賞内規の決定

庶務理事より、評議員会で決定された日本天文学会研究奨励賞内規について報告された(付録 4)。

【付録 1】 昭和 62 年度 会 務 報 告

昭和 62 年度は、本会創立 80 年度、社団法人設立後 54 年にあたる。

本年度に行なった事業

(イ) 出版

- 1) 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan)

第 39 卷 第 2 号 174 頁 昭和 62 年 5 月 25 日
第 39 卷 第 3 号 166 頁 昭和 62 年 8 月 25 日
第 39 卷 第 4 号 144 頁 昭和 62 年 9 月 25 日
第 39 卷 第 5 号 158 頁 昭和 62 年 11 月 25 日
第 39 卷 第 6 号 128 頁 昭和 62 年 12 月 25 日
第 40 卷 第 1 号 126 頁 昭和 63 年 3 月 25 日

- 2) 天文月報

第 80 卷第 4 号から第 81 卷第 3 号まで毎月発行

(ロ) 年会

- 1) 春季年会

昭和 62 年 5 月 12~14 日 京都市京大会館

講演数 244 (含ポスター 36) 出席者 391 名

- 2) 秋季年会

昭和 62 年 10 月 19~21 日

札幌市北海道大学学術交流会館

講演数 237 (含ポスター 21, ポストデッドライ
ン 2) 出席者 317 名

総会及び評議員会、臨時評議員会

(イ) 定期総会

昭和 62 年 5 月 13 日 16~18 時 京都市京大会館

議長: 早川幸男

議題: 1. 昭和 61 年度会務報告

2. 昭和 61 年度会計報告

3. 昭和 61 年度会計監査報告

4. 昭和 62 年度予算

5. 天体発見賞贈呈

6. 天体発見賞細則改定

7. 日本学術会議会員候補推薦内規の決定

8. 次期理事長・副理事長選出

9. 次期理事指名

10. 欧文研究報告編集委員、内地留学奨学金選考委員、評議員選挙管理委員委嘱

11. 会計監査委嘱

11. 会計監査委嘱

(ロ) 評議員会

昭和 62 年 5 月 12 日 12 時 20 分~12 時 55 分

京都市京大会館会議室

議長: 青木信仰

- 議題: 1. 昭和 61 年度会務報告
 2. 昭和 61 年度会計報告及び監査報告
 3. 昭和 62 年度予算
 4. 天体発見賞贈呈の件
 5. 天体発見賞細則改定
 6. 次期役員 の 推薦

(ハ) 臨時評議員会

- 1) 昭和 62 年 10 月 19 日 12~13 時
 札幌市北海道大学学術交流会館第 4 会議室
 議長: 小暮智一
 議題: 1. 第 14 期学術会議会員候補及び同推薦人の決定手続き
 2. 若手賞について
- 2) 昭和 63 年 1 月 23 日 13 時 05 分~14 時 15 分
 学士会館本郷分館第 8 会議室
 議長: 古在由秀
 議題: 日本学術会議第 14 期会員候補者及び同推薦人の決定

その他の主な事項

- (イ) 天体発見賞を 6 件 6 氏に授与した。
 天体発見功労賞を 3 件 6 氏に授与した。ただし、
 1 件 2 氏は受賞を辞退された。(5 月)
- (ロ) 天体発見賞に関する細則を改定した。(5 月)
- (ハ) 昭和 62 年度学術交流費によって
 春季年会(京都) 39 名, 秋季年会(札幌) 69 名,
 計 108 名に対して旅費補助を行った。
 (5 月, 10 月)
- (ニ) 日本宇宙生物科学会第一回大会を協賛した。
 (9 月)
- (ホ) 昭和 63 年度文部省科学研究費補助金第一段審査
 委員候補者として, 加藤正二氏・小平桂一氏・藤
 本光昭氏を, 第二段審査委員候補者として, 小暮
 智一氏・日江井栄二郎氏を, それぞれ推薦した。
 (9 月)
- (ヘ) 昭和 62 年度内地留学奨学金受給者に 高橋 淳
 ・間瀬康文の 2 氏を決定した。(10 月)

- (ト) 東京大学東京天文台の一般公開を後援した。
 (10 月)
- (チ) 昭和 62 年度研究成果刊行補助金が増額され, 文
 部省より欧文研究報告に対して 3,250,000 円が交
 付された。(11 月)
- (リ) 1986 年度 Vainu Bappu 賞を, 日本天文学会推薦
 の福井康雄氏(名古屋大学理学部)がインド天文
 学会より授与された。(12 月)
- (ヌ) 文部省科学研究費補助金「研究成果公開促進費」
 による公開シンポジウム第 2 回, 宇宙科学研究所
 主催「宇宙科学の最先端」を後援した。(12 月)
- (ル) 海外滞在/在住研究者に対する天文月報・欧文報
 告の航空便発送を希望者に対して始めた。
 (63 年 1 月)
- (ヲ) 第 14 期日本学術会議会員候補者として杉本大
 一郎氏, 磯部瑠三氏を推薦した。なお, 同会員候補
 者推薦人に古在由秀氏, 堀 源一郎氏, 同会員候
 補者推薦人予備者に池内 了氏を届け出た。
 (63 年 2 月)
- (ワ) 第 7 期(昭和 63~67 年度)評議員選挙を行ない,
 新たに候補者 15 名を決定した。(月報 63 年 5 月
 号に発表) (63 年 2 月)
- (カ) 第 4 回井上科学振興財団学術賞を, 日本天文学会
 推薦の尾崎洋二氏(東京大学理学部)が受賞した。
 (63 年 2 月)
- (ヨ) 日本天文学会奨励賞(仮称)創設, 学会定款改定
 問題, 国立天文台への改組問題, 学会財政計画な
 どの懸案について引き続き検討を重ねた。

会 員 数

	昭和61年度末現在	増 減	昭和62年度末現在
特別会員	604	83 13	674
通常会員	1,658	70 129	1,599
賛助会員	50	2 0	52
合計	2,312	155 142	2,325

以上

【付録2】 昭和62年度 収支計算書

社団法人 日本天文学会

(昭和62年4月1日~昭和63年3月31日)

【一般会計】

I) 収入の部 (単位:円)

勘定科目 大・中・小科目	予算額	決算額
基本財産運用収入	280,000	233,500
基本財産利息収入	280,000	233,500
会費収入	15,346,000	15,541,250
特別会費収入	7,096,000	7,789,000
一般会費収入	6,396,000	6,877,500
学生会費収入	700,000	911,500
通常会費収入	8,250,000	7,752,250
事業収入	15,635,000	15,293,387
欧文研究報告発行事業収入	10,930,000	10,771,240
購読料	5,520,000	5,015,600
掲載料	3,700,000	3,787,940
別刷代	1,710,000	1,967,700
天文月報発行事業収入	3,805,000	3,668,547
購読料	1,260,000	968,251
別刷代	300,000	356,420
広告料	2,245,000	2,343,876
年会事業収入	900,000	853,600
予稿集頒布収入	300,000	251,600
参加費	600,000	602,000
印税収入	400,000	690,000
星座早見印税収入	0	690,000
流星図印税収入	400,000	0
補助金収入	2,400,000	3,250,000
文部省刊行補助金収入	2,400,000	3,250,000
雑収入	1,180,000	956,351
受取利息	380,000	297,966
その他の収入	800,000	658,385
当期収入合計 (A)	35,241,000	35,964,488
前期繰越収支差額	8,647,922	8,647,922
収入合計 (B)	43,888,922	44,612,410

II) 支出の部 (単位:円)

勘定科目 大・中・小科目	予算額	決算額
事業費	29,990,000	30,032,753
欧文研究報告発行事業費	16,190,000	15,657,507
直接出版費	12,520,000	12,339,516
別刷印刷費	1,000,000	962,360
人刷件費	820,000	853,138
謝送料	700,000	529,553
送運搬費	850,000	630,680
消耗品費	200,000	342,260
雑費	100,000	0
天文月報発行事業費	10,570,000	10,921,325
直接出版費	6,600,000	7,006,280
別刷印刷費	440,000	332,500
人刷件費	880,000	776,090
謝送料	650,000	834,000
送運搬費	1,600,000	1,545,685
消耗品費	350,000	426,770
雑費	50,000	0
年会事業費	3,230,000	3,453,921
予稿集印刷費	1,300,000	1,530,100
謝送料	400,000	316,600
送運搬費	280,000	334,360
会場費	1,000,000	702,900
消耗品費	150,000	564,961
雑費	100,000	5,000

管理費	7,861,000	6,839,598
人謝会費	2,800,000	2,798,842
旅費	400,000	100,440
交通費	300,000	415,142
通信費	81,000	80,000
品費	850,000	1,063,798
備品費	500,000	621,625
製水費	600,000	82,600
印刷費	750,000	611,774
製本費	750,000	161,150
借入金	80,000	66,816
手数料	500,000	500,748
雑費	60,000	70,076
雑費	90,000	103,587
雑費	100,000	143,000
雑費	0	20,000
特定預金支出	410,000	409,500
退職給与引当預金支出	110,000	109,500
減価償却引当預金支出	300,000	300,000
予備費	5,627,922	532,040
予備費	5,627,922	532,040
当期支出合計 (C)	43,888,922	37,813,891
当期収支差額 (A)-(C)	Δ8,647,922	Δ1,849,403
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	6,798,519

(注)

- この書類は、「公益法人会計基準」(昭和60年9月17日公益法人指導監督連絡会議決定、以下「新基準」という。)の実施に伴い「新基準」によって作成した。
- 「新基準」の適用により次のように改正した。
 剰余金の部を廃止し、正味財産の部に記載した。
 基本金は正味財産の部に内書きした。
- 収支計算書の作成形式は、昭和62年度予算書に習った。

【特別会計】 (単位:円)

会計種目/勘定科目	予算額	決算額
学术交流費特別会計		
収入の部		
賛助会費収入	1,500,000	2,070,000
受取利息	11,000	15,300
前期繰越収支差額	83,630	83,630
収入合計	1,594,630	2,168,930
支出の部		
学术交流費	1,580,000	1,504,000
予備費	14,630	3,400
支出合計	1,594,630	1,507,400
次期繰越収支差額	0	661,530
正味財産	0	661,530
内地留学奨学金特別会計		
収入の部		
基本財産利息収入	230,000	208,956
繰入金収入	0	20,000
前期繰越収支差額	27,854	27,854
収入合計	257,854	256,810
支出の部		
奨学金支出	250,000	250,000
予備費	7,854	1,500
支出合計	257,854	251,500
次期繰越収支差額	0	5,310
正味財産	0	5,310

昭和62年度 一般会計正味財産増減計算書

社団法人 日本天文学会

(昭和62年4月1日~昭和63年3月31日)

【付録3】 昭和63年度 収支予算書

社団法人 日本天文学会

(昭和63年4月1日~昭和64年3月31日)

【一般会計】

I) 収入の部 (単位:円)

勘定科目	予算額	前年度 予算額
大・中・小科目		
基本財産運用収入	230,000	280,000
基本財産利息収入	230,000	280,000
会費収入	15,650,000	15,346,000
特別会員会費収入	7,900,000	7,096,000
一般会費収入	6,900,000	6,396,000
学生会費収入	1,000,000	700,000
通常会員会費収入	7,750,000	8,250,000
事業収入	15,550,000	15,635,000
欧文研究報告発行事業収入	10,750,000	10,930,000
購読料	5,100,000	5,520,000
掲載料	3,700,000	3,700,000
別刷代	1,950,000	1,710,000
天文月報発行事業収入	3,950,000	3,805,000
購読料	950,000	1,260,000
別刷代	400,000	300,000
広告料	2,600,000	2,245,000
年会事業収入	850,000	900,000
予稿集頒布収入	250,000	300,000
参加費	600,000	600,000
印税収入	1,200,000	400,000
星座早見印税収入	800,000	0
流星図印税収入	400,000	400,000
補助金収入	3,250,000	2,400,000
文部省刊行補助金収入	3,250,000	2,400,000
雑収入	1,340,000	1,180,000
受取利息	300,000	380,000
その他の収入	1,040,000	800,000
当期収入合計 (A)	37,220,000	35,241,000
前期繰越収支差額	6,798,519	8,647,922
収入合計 (B)	44,018,519	43,888,922

II) 支出の部 (単位:円)

勘定科目	予算額	前年度 予算額
大・中・小科目		
事業費	29,950,000	29,990,000
欧文研究報告発行事業費	15,650,000	16,190,000
直接出版費	12,300,000	12,520,000
別刷印刷費	1,000,000	1,000,000
人件費	860,000	820,000
謝金	600,000	700,000
送料運搬費	640,000	850,000
消耗品費	200,000	200,000
雑費	50,000	100,000
天文月報発行事業費	10,990,000	10,570,000
直接出版費	7,000,000	6,600,000
別刷印刷費	350,000	440,000
人件費	860,000	880,000
謝金	830,000	650,000
送料運搬費	1,550,000	1,600,000
消耗品費	350,000	350,000
雑費	50,000	50,000
年会事業費	3,310,000	3,230,000
予稿集印刷費	1,600,000	1,300,000
謝金	320,000	400,000

送料運搬費	340,000	280,000
会場費	550,000	1,000,000
消耗品費	400,000	150,000
雑費	100,000	100,000
管理費	8,500,000	7,861,000
人件費	3,000,000	2,800,000
謝金	100,000	400,000
会議費	400,000	300,000
負担金	80,000	81,000
旅費交通費	1,000,000	850,000
送料通信費	1,100,000	500,000
什器備品費	300,000	600,000
消耗品費	620,000	750,000
印刷製本費	1,000,000	750,000
光熱水料費	70,000	80,000
賃借料	510,000	500,000
保険料	70,000	60,000
諸手数料	100,000	90,000
雑費	150,000	100,000
特定預金支出	415,000	410,000
退職給与引当預金支出	115,000	110,000
減価償却引当預金支出	300,000	300,000
予備費	5,153,519	5,627,922
予備費	5,153,519	5,627,922
当期支出合計 (C)	44,018,519	43,888,922
当期収支差額 (A)-(C)	Δ6,798,519	Δ8,647,922
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	0

【特別会計】

(単位:円)

会計種目/科目	予算額	前年度 予算額
学术交流費会計		
収入の部		
賛助会員会費収入	2,000,000	1,500,000
受取利息	15,000	11,000
前期繰越収支差額	661,530	83,630
収入合計	2,676,530	1,594,630
支出の部		
学术交流費	2,000,000	1,580,000
予備費	676,530	14,630
支出合計	2,676,530	1,594,630
次期繰越収支差額	0	0
剰余	0	0
内地留学奨学会会計		
収入の部		
基本財産利息収入	209,000	230,000
前期繰越収支差額	5,310	27,854
収入合計	214,310	257,854
支出の部		
奨学金支出	200,000	250,000
予備費	14,310	7,854
支出合計	214,310	257,854
次期繰越収支差額	0	0
剰余	0	0

